



2025年6月20日
株式会社 阿波銀行

公益財団法人 阿波銀行学術・文化振興財団
～ 第30回助成先を決定しました ～

公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団（理事長 長岡奨 阿波銀行代表取締役会長、基本財産3億円）は、2025年6月20日にあわぎんホール5階小ホールにおいて、第30回助成式を開催いたしました。今年度は、学術部門の地域共同研究助成として3件・200万円、徳島大学研究開発助成として2件・100万円、また文化部門の文化活動助成として9件・160万円、地域文化交流助成として3件・55万円、総計17件・515万円の助成を行いました。

今回の助成について、2025年1月から3月にかけて申込みを公募したところ、学術部門に22件（うち地域共同研究助成4件、徳島大学研究開発助成18件）、文化部門の文化活動助成には49件の合計71件の申込みをいただきました。これら応募案件は、2025年6月3日に開催された「選考委員会」の厳正な審査を経て、助成対象者ならびに助成額が決定されました。

記

■過去3年間の助成実績

（単位：件／万円）

	学術部門	文化部門	合計
2025年度	5／300	12／215	17／515
2024年度	5／300	14／235	19／535
2023年度	7／300	15／235	22／535
過去30回 総合計	237／12,500	533／9,182	770／21,682

永続的に地域の産業・学術・文化の発展に資することを目的とし、平成7年1月に設立された当財団では、今後も助成活動を継続してまいります。

阿波銀行は、当財団の助成をひとつの契機として、新しい技術開発に積極的に取り組み、徳島経済の牽引役となる企業を数多く輩出したいと考えております。また、幅広い文化活動を振興することにより、徳島県の芸術・文化活動が豊かに育まれていくよう、さまざまな角度から地域の振興に努めてまいります。

以 上

公益財団法人 阿波銀行学術・文化振興財団
令和7年度 第30回 助成式

1. 助成金額

助 成 部 門	助成数	助 成 金 額
地 域 共 同 研 究 助 成	3	2 0 0 万円
徳島大学研究開発助成	2	1 0 0 万円
文 化 活 動 助 成	9	1 6 0 万円
助 成 金 合 計	1 4	4 6 0 万円

文 化 部 門	
<スポーツ大会>	
小 学 生 サ ッ カ ー 大 会	} 5 5 万円
小学生ミニバスケットボール大会	
ジュニアソフトテニス大会	
総合計	5 1 5 万円

2. 学術部門（地域共同研究）

No	受 賞 企 業	徳島大学共同研究教員	研 究 内 容
1	徳真電機工業株式会社	高岩 昌弘（教授）	可変剛性機能を活用した空気式多自由度ロボットによる精密嵌め合い作業の自動化
2	サン電子株式会社	白井 昭博（准教授）	中赤外線的光刺激を活用した高付加価値の農産物生産システムの開発
3	株式会社スペック	山 本 圭（教授）	ビール仕込み残渣の利用多様化に向けた医学部外品素材への再資源化技術の開発

3. 学術部門（徳島大学研究開発）

No	受 賞 者	研 究 内 容
1	花田 隆文（助教）	メカノケミカル反応を利用した環境調和型リチウムイオン電池リサイクル技術の開発
2	岸本 幸治（准教授）	がん幹細胞の生存適応を支える生細胞取込み活性の核心的メカニズムとその治療利用

4. 文化部門

No	受 賞	代 表 者	活 動 内 容
1	NPO法人 阿波農村舞台の会	林 茂 樹	阿波人形浄瑠璃絵本の制作・普及
2	NPO法人 写楽の会	田村 耕一	「写楽通り」案内用パンフレット作成、 「べらぼう」記念講演会の開催
3	徳島県立つるぎ高等学校	岡本 和之	郷土の歴史や文化から学ぶ伝統的 建造物の復元
4	半田そうめん食堂	北室 淳子	貞光・半田地域食文化の普及・発信
5	阿南工業高等専門学校	森山 卓郎	徳島の橋ゾグソーパズルの製作と配付
6	認定NPO法人 賀川豊彦記念・鳴門友愛会	久積 育郎	賀川豊彦の偉業を顕彰・継承
7	阿波あかね会	西村 宏昭	日本茜染めによる阿波人形浄瑠璃笈 摺制作
8	阿波相撲史ワークス	笠原 二郎	阿波相撲史研究
9	阿波人形浄瑠璃 平成座	藤本 宗子	阿波人形浄瑠璃 北海道倶知安町特 別公演の開催